

## 基科1 01S : (統計学) PC

日時 : 4月26日(月) 4~6時限

担当者 : 椎橋 実智男(情報技術支援推進センター) 向田 寿光(教養教育) 鈴木 正  
(教養教育) 高橋 美穂(医学教育センター) 吉田 幸生(情報技術支援推進センター)  
鈴木 智(医学教育センター)

### 内容 :

ワープロとスプレッドシートによるレポート作成

1. ワードを用いて文章を入力できる。
2. ワードを用いて文章を整えることができる。
3. ワードを用いて表を作成できる。
4. ワードに図を貼り付けることができる。
5. ワードにエクセルで作成した表や図を貼り付けることができる。

スプレッドシートによる記述統計とグラフ作成

1. エクセルを用いて種々の統計量を計算できる。
2. エクセルを用いて種々の表を作成できる。
3. エクセルを用いて種々のグラフを作成できる。
4. エクセルを用いて散布図を作成し、相関係数、回帰直線を求めることができる。

スプレッドシートによる信頼区間

1. NORMSDIST 関数および NORMINV 関数を用いて、正規分布による確率を求めることができる。
2. TDIST 関数および TINV 関数を用いて、t 分布による確率を求めることができる。
3. 正規分布を用いた母平均の区間推定ができる。
4. t 分布を用いた母平均の区間推定ができる。
5. n の影響を説明できる。

### キーワード :

ワード、フォント、インデント、タブ、表、図、エクセル、平均値、中央値、分散、標準偏差、範囲、度数分布、棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、相関係数、回帰直線、正規分布、t 分布、母平均、区間推定

### 教科書 :

- ◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

### 参考書 :

- ◆ 必ず役立つ情報リテラシー、飯島史郎、丸善
- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBM と病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

### 備考 :

01S と 02S は同じ内容を2クラスに分けて行う。01S は A クラスが授業を受け、B クラスは授業はない。02S は B クラスが授業を受け、A クラスは授業はない。必要な資料を配布する。

### 準備 :

高校の情報科学で行ったエクセルの演習の資料、上記の参考図書、下記のページなどでエクセルの基本操作、計算、関数などを思いだして(調査して)おく。30分程度。

<https://www.youtube.com/watch?v=1tKW07r8sVs>

<https://www.youtube.com/watch?v=Grhno0Zqxjg>

[http://www.kenzo30.com/excel¥\\_kiso.htm](http://www.kenzo30.com/excel¥_kiso.htm)

### 基科 1 02S : (統計学) PC

日時 : 4月30日(金) 4~6時限

担当者 : 椎橋 実智男(情報技術支援推進センター) 向田 寿光(教養教育) 鈴木 正  
(教養教育) 高橋 美穂(医学教育センター) 吉田 幸生(情報技術支援推進センター)  
鈴木 智(医学教育センター)

内容 :

01Sと同じ

キーワード :

01Sと同じ

教科書 :

◆ 01Sと同じ

参考書 :

◆ 01Sと同じ

備考 :

01Sを参照。Bクラスが授業を受け、Aクラスは授業はない。

準備 :

01Sと同じ

### 内容を転記したら削除 : (統計学) PC 3

日時 :

担当者 : 椎橋 実智男(情報技術支援推進センター) 向田 寿光(教養教育) 鈴木 正  
(教養教育) 高橋 美穂(医学教育センター) 吉田 幸生(情報技術支援推進センター)  
鈴木 智(医学教育センター)

内容 :

スプレッドシートによる信頼区間

1. NORMSDIST 関数および NORMINV 関数を用いて、正規分布による確率を求めることができる。
2. TDIST 関数および TINV 関数を用いて、t 分布による確率を求めることができる。
3. 正規分布を用いた母平均の区間推定ができる。
4. t 分布を用いた母平均の区間推定ができる。
5. n の影響を説明できる。

キーワード :

エクセル、正規分布、t 分布、母平均、区間推定

教科書 :

◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

参考書 :

◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂

◆ 臨床推論 EBM と病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

準備 :

関連する講義の内容をまとめ、上記のエクセルの関数の使い方を調査しておく。30分程度。

### 基科 1 03P : (物理学) 力学 1

日時 : 5月11日(火) 1時限

担当者 : 西脇 洋一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

力学的エネルギー、運動量

1. 物体の運動を、運動方程式を用いて記述できる
2. 仕事と力学的エネルギーを説明できる
3. 運動量と力積を説明できる

**キーワード：**

運動方程式、仕事、力学的エネルギー、運動量、力積

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**準備：**

教科書「基礎物理学」1.3節，2.4節，2.5節を読んてくること。30分程度は費やすことが望ましい。

**基科1 04P：(物理学) 力学2**

日時：5月11日（火） 2時限

担当者：西脇 洋一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

剛体

1. 力のモーメントと角運動量を記述できる
2. 剛体の運動を記述できる

**キーワード：**

剛体、回転運動、力のモーメント、角運動量、重心

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**準備：**

教科書「基礎物理学」3.1節，3.3節，3.4節，3.5節，3.6節を読んてくること。30分程度は費やすことが望ましい。

**基科1 05C：(化学) ガイダンス**

日時：5月12日（水） 4時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

ガイダンス

1. 演習・実習等の概要を説明できる。
2. 実習にあたっての注意点を説明できる。
3. 実験器具・薬品・実験機器の扱い方について説明できる。

**教科書：**

- ◆ 生命科学系のための物理化学（R. Chang，東京化学同人）

**備考：**

配布するプリント

### 基科 1 06C : (化学) 酸塩基平衡 1

日時 : 5月12日(水) 5時限

担当者 : 村上 元(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 森口 武史(教養教育)

内容 :

血液(体液) pHが調節される仕組みを理解するために必要な化学平衡や緩衝作用について習得する。

1. 酸・塩基を定義できる。
2. 酸・塩基の水溶液中での解離を説明できる。
3. 酸性度を計算できる。

キーワード :

水素イオン濃度 (pH), 酸解離定数, 解離度, 多塩基酸

教科書 :

- ◆ 生命科学系のための物理化学 (R. Chang, 東京化学同人)

準備 :

生命科学系のための物理化学 (R. Chang, 東京化学同人) 8・1 から 8・4 を読み講義に臨むこと。20 分程度は費やすことが望ましい。

### 基科 1 07C : (化学) 酸塩基平衡 2

日時 : 5月13日(木) 4時限

担当者 : 村上 元(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 森口 武史(教養教育)

内容 :

04Cと同じ

1. 中和を説明できる。
2. 緩衝作用を説明できる。
3. 反応に及ぼす pH の影響を理解し、説明できる。

キーワード :

中和, 緩衝能, ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式, 化学平衡

教科書 :

- ◆ 生命科学系のための物理化学 (R. Chang, 東京化学同人)

準備 :

生命科学系のための物理化学 (R. Chang, 東京化学同人) 8・5 から 8・8 を読み講義に臨むこと。20 分程度は費やすことが望ましい。

### 基科 1 08C : (化学) 酸塩基平衡 3

日時 : 5月13日(木) 5時限

担当者 : 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

内容 :

酸塩基平衡実験の説明

1. pH 指示薬の酸塩基平衡について説明できる。
2. 吸光・吸光度について説明できる。
3. 発色と化学構造について説明できる。

キーワード :

UV-vis スペクトル, ランベルト・ベールの法則, 分子軌道, 電子遷移

教科書 :

- ◆ 生命科学系のための物理化学 (R. Chang, 東京化学同人), 第 8, 14 章

**備考：**

実習書を使用して説明する。

**準備：**

事前に配布する実習書をよく読んでくること。(予習時間：15分)

**基科1 09P：(物理学) 熱1**

日時：5月18日(火) 1時限

担当者：西脇 洋一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

熱力学第1法則

1. 比熱を説明できる
2. 内部エネルギーを説明できる
3. 熱力学第1法則を説明できる

**キーワード：**

比熱、内部エネルギー、熱力学第1法則

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学(原康夫, 学術図書出版社)

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門(木下順二, 講談社)

**準備：**

教科書「基礎物理学」5.1節, 5.4節を読んでくること。30分程度は費やすことが望ましい。

**基科1 10P：(物理学) 熱2**

日時：5月18日(火) 2時限

担当者：西脇 洋一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

熱力学第2法則

1. 熱力学第2法則を説明できる
2. 熱機関の効率を計算できる

**キーワード：**

熱力学第2法則、熱機関

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学(原康夫, 学術図書出版社)

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門(木下順二, 講談社)

**準備：**

教科書「基礎物理学」5.5節, 5.6節を読んでくること。30分程度は費やすことが望ましい。

**基科1 11P：(物理学) エネルギー**

日時：5月18日(火) 3時限

担当者：西脇 洋一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

様々なエネルギー

1. 自然界にある様々なエネルギー形態を列挙できる

2. エネルギー形態の変換について説明できる

キーワード：

エネルギー変換、変換効率

教科書：

◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

参考書：

◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

準備：

これまでの力学（01P，02P）、熱（07P，08P）の学習項目を復習してくる。30分程度は費やすことが望ましい。

**基科1 12EX：物理学実験・化学実験1**

日時：5月19日（水） 4～6時限

担当者：向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)  
赤間 啓一(教養教育) 赤羽 明(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 水野 洋介  
(中研・形態部門) 森口 武史(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育)  
廣澤 成美(中研・機能部門) 坂本 安(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI部門)  
塚本 翔(ゲノム基礎)

内容：

A, Bグループに分かれて物理学実験と化学実験を行う。

物理学実験：運動の法則，エネルギー変換

1. 身体の運動を、力学法則を用いて解析できる
2. エネルギー形態の変換効率が求められる

化学実験：酸塩基指示薬の吸光スペクトル，緩衝作用

1. 実験でも用いる器具の知識を持ち、取り扱うことができる。
2. 吸光光度計の原理を説明・操作できる。
3. 吸収スペクトルのデータを読むことができる。
4. 緩衝溶液を作成できる。
5. 緩衝作用を確認できる。

キーワード：

物理学実験：力積、力学的エネルギー、電気エネルギー

化学実験：平衡定数，吸収スペクトル，吸光度，水素イオン濃度（pH），緩衝作用

参考書：

◆ 化学実験：機器分析のてびき1第2版，泉美治，化学同人

備考：

物理学実験：授業中に適宜プリントを配布する

化学実験：配布した実習書を持参

準備：

物理学実験：講義の内容を復習しておくこと。20分程度は費やすことが望ましい。

化学実験：実習書をよく読み、作業手順を覚えてくること。（20分）

**基科1 13EX：物理学実験・化学実験2**

日時：5月20日（木） 4～6時限

担当者：向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)  
赤間 啓一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 水野 洋介(中研・形態部門)

森口 武史(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 廣澤 成美  
(中研・機能部門) 坂本 安(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI 部門) 塚本 翔  
(ゲノム基礎)

内容：

10EX と同じ

### 基科 1 14EX : 物理学実験・化学実験 3

日時：5月26日(水) 4~6時限

担当者：向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)  
赤間 啓一(教養教育) 赤羽 明(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 水野 洋介  
(中研・形態部門) 森口 武史(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育)  
廣澤 成美(中研・機能部門) 坂本 安(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI 部門)  
塚本 翔(ゲノム基礎)

内容：

10EX と同じ

### 基科 1 15EX : 物理学実験・化学実験 4

日時：5月27日(木) 4~6時限

担当者：向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)  
赤間 啓一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 水野 洋介(中研・形態部門)  
森口 武史(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 廣澤 成美  
(中研・機能部門) 坂本 安(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI 部門) 塚本 翔  
(ゲノム基礎)

内容：

10EX と同じ

### 基科 1 16M : (数学) 微分積分 1

日時：6月1日(火) 1時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

内容：

定積分、広義積分、無限積分

1. 定積分を領域の面積として理解できる。
2. 広義積分を定義に基づいて計算できる。
3. 無限積分を定義に基づいて計算できる。

キーワード：

リーマン積分、広義積分、無限積分

備考：

教科書・参考書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

準備：

高等学校で学んだ微分積分の範囲をよく復習しておくこと。30分程度費やすことが望ましい。

## 基科1 17M : (数学) 微分積分 2

日時 : 6月1日(火) 2時限

担当者 : 鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

内容 :

微分法の応用、積分法の応用

1. 速度や加速度を微分を用いて表すことができる。
2. 単位時間あたりの量から、有限の時間における総和を求めることができる。
3. 時間的に変動する量の平均を求めることができる。
4. 積分により仕事を計算できる。

キーワード :

速度, 加速度, 総和, 平均, 仕事

備考 :

教科書・参考書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

準備 :

同上

## 基科1 18C : (化学) 酸塩基平衡 4

日時 : 6月2日(水) 4時限

担当者 : 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育) 土田 敦子(教養教育)

内容 :

血液(体液) pHが調節される仕組みを理解するために必要な化学平衡や緩衝作用について習得する。

1. 平衡定数、緩衝作用の説明、基礎的な計算ができる。
2. 血液(体液)のpH調節のしくみとの関連づけができる。

キーワード :

モル濃度, 中和滴定曲線, 吸光度曲線, リン酸緩衝系

教科書 :

◆ 生命科学系のための物理化学 (R.Chang, 東京化学同人)

準備 :

04C, 05C, 06C および実施した実験の内容を復習しておくこと (予習時間 : 1 時間)

## 基科1 19S : (統計学) 1

日時 : 6月2日(水) 5時限

担当者 : 椎橋 実智男(情報技術支援推進センター)

内容 :

統計学の概要とデータの性質

1. 客観的な事実を示すために統計学が必要とされる理由を説明できる。
2. 記述統計と推測統計の違いを説明できる。
3. 母集団と標本の関係を説明できる。
4. 計量データと計数データについて説明でき、それぞれの具体例を示すことができる。
5. 名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度について説明でき、それぞれの具体例を示すことができる。

キーワード :

統計学、客観性、定量性、記述統計、推測統計、母集団、標本、計量データ、計数データ、名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度

教科書 :

◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版



**参考書：**

- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

**準備：**

教科書の p.124 から p.133 を読み、可能な範囲で内容をノートにまとめる。p.146 から p.147 の問題を解いてみる。30分程度。

**基科1 20S：(統計学) 2**

日時：6月3日(木) 4時限

担当者：椎橋 実智男(情報技術支援推進センター)

**内容：**

データの特長の記述(記述統計)

1. 平均値と中央値の意味を説明でき、それらを計算できる。
2. 分散と標準偏差の意味を説明でき、それらを計算できる。
3. 四分位、範囲、四分位偏差、歪み度、尖り度を説明できる。
4. データの種類に応じて度数分布表やクロス集計表を作成できる。
5. データの性質に応じ、その特徴を示すためのグラフを作成できる。

**キーワード：**

記述統計、代表値、平均値、中央値、散布度、分散、標準偏差、四分位、範囲、四分位偏差、歪み度、尖り度、度数分布表、クロス集計表、グラフ

**教科書：**

- ◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

**参考書：**

- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

**準備：**

教科書の p.124 から p.133 を読み、可能な範囲でまとめる。p.146 から p.147 の問題を解いてみる。30分程度。

**基科1 21S：(統計学) 3**

日時：6月3日(木) 5時限

担当者：椎橋 実智男(情報技術支援推進センター)

**内容：**

2変数の関係(相関関係)

1. 散布図を作成できる。
2. 散布図を用いて2変数の関係を表現できる(正の相関、負の相関、強い相関、弱い相関、無相関)
3. 相関係数の意味を説明でき、計算できる。
4. 回帰直線の意味を説明でき、計算できる。
5. 散布図に回帰直線を引くことができる。
6. 検量線を作成し、それを用いてデータの補間ができる。

**キーワード：**

相関関係、散布図、正の相関、負の相関、強い相関、弱い相関、無相関、相関係数、決定係数、回帰直線、回帰係数、傾き、切片、検量線、補間

**教科書：**

- ◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

**参考書：**

- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

**準備：**

教科書の p.134 から p.138 を読み、可能な範囲で内容をノートにまとめる。p.146 から p.147 の問題を解いてみる。30 分程度。

**基科 1 22C : (化学) 酸塩基平衡 5**

日時：6月8日（火） 1時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

「酸塩基指示薬の吸収スペクトル」のレポート講評

1. 実験の内容を理解し、得られた結果を整理することができる。
2. 結果をまとめ、文章でわかりやすく説明することができる。

**教科書：**

- ◆ 生命科学系のための物理化学 (R. Chang, 東京化学同人)

**参考書：**

- ◆ 実習書

**備考：**

自身が作成したレポートを直ぐに確認できるよう、電子・紙いずれの媒体でも良いので手元に用意しておくこと。

**準備：**

レポートを期日までに仕上げ webclass にアップロードしておくこと (予習時間：1～3時間)

**基科 1 23C : (化学) 酸塩基平衡 6**

日時：6月8日（火） 2時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

「緩衝液の調製と作用」のレポート講評

1. 22C と同じ

**教科書：**

- ◆ 22C と同じ

**参考書：**

- ◆ 22C と同じ

**備考：**

22C と同じ

**準備：**

22C と同じ

## 基科1 24P : (物理学) エネルギーと生命活動

日時 : 6月9日(水) 4時限

担当者 : 西脇 洋一(教養教育) 村越 隆之(生化学) 中野 貴成(生化学)

内容 :

エネルギーと生命活動

1. 生命活動に必要なエネルギーの由来を説明できる
2. 内燃機関としての人体 ; エンジンと比較して説明できる
3. 汎用性エネルギー ; 電気とATPについて説明できる
4. 生命活動 ; ATPの生体における利用について説明できる

キーワード :

ATP、化学エネルギー、運動エネルギー、運動、エネルギー効率、栄養、呼吸、酸素、酸化、燃焼、熱、骨格筋、アクチン、ミオシン、アトウォーター係数、カロリー、ジュール、仕事、代謝、エネルギー代謝率

教科書 :

- ◆ なし

参考書 :

- ◆ エントロピーと秩序—熱力学第二法則への招待 (ピーター・W・アトキンス)
- ◆ スポーツ・エネルギー学序説 (金子公宥, 著) 杏林書院
- ◆ Essential 細胞生物学 (第4版) 3, 13, 14, 17章、南江堂

備考 :

物理学フォローアップ講義

準備 :

物理学の講義、演習の内容を確認しておく。生命活動、生命維持に必要なエネルギーの使われ方について考えておく。本講義のときにはすでに始まっている「細胞生物学1」ユニットで使用する教科書 : Essential 細胞生物学の3章 (特に p105-107) について熟読し、ATPの加水分解がエネルギーを与えることにつき、概念的な理解をしておく。所要時間 10分程度。

## 基科1 25P : (物理学) エネルギーと運動

日時 : 6月9日(水) 5時限

担当者 : 西脇 洋一(教養教育) 村越 隆之(生化学) 中野 貴成(生化学)

内容 :

エネルギーと運動

1. 骨格筋の運動とエネルギー変換効率を説明できる。
2. 消費エネルギーを推定できる。
3. 垂直跳びを題材にヒトでのエネルギー変換効率を考える。

キーワード :

ATP、化学エネルギー、運動エネルギー、運動、エネルギー効率、栄養、呼吸、酸素、酸化、燃焼、熱、骨格筋、アクチン、ミオシン、アトウォーター係数、カロリー、ジュール、仕事、代謝、エネルギー代謝率

教科書 :

- ◆ なし

参考書 :

- ◆ Essential 細胞生物学 (第4版) 3, 13, 14, 17章、南江堂
- ◆ スポーツ・エネルギー学序説 (金子公宥, 著) 杏林書院
- ◆ エントロピーと秩序—熱力学第二法則への招待 (ピーター・W・アトキンス)

備考 :

物理学フォローアップ講義

**準備：**

筋の動きについて考えておく。ヒトを内燃機関と考えたとき、どれくらいのエネルギー変換効率を得られるのか予測しておく。関連する実習の復習をしておく。20分程度。

**基科1 26S：(統計学) 4**

日時：6月10日(木) 2時限

担当者：椎橋 実智男(情報技術支援推進センター)

**内容：**

確率モデル(確率分布) 1

1. 確率にまつわる用語の意味を説明できる。
2. 確率の加法定理、乗法定理、条件付確率の意味を説明できる。
3. 確率分布の必要性和特性を説明できる。
4. 離散型確率分布と連続型確率分布の違いを説明できる。
5. 2項分布の意味を説明でき、2項分布を用いて確立を計算できる。

**キーワード：**

確率、試行、事象、独立事象、加法定理、乗法定理、確率分布、離散型確率分布、連続型確率分布、2項分布

**教科書：**

◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

**参考書：**

- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

**準備：**

教科書のp.139からp.146を読み、可能な範囲で内容をノートにまとめる。p.146からp.147の問題を解いてみる。30分程度。

**基科1 27S：(統計学) 5**

日時：6月10日(木) 3時限

担当者：椎橋 実智男(情報技術支援推進センター)

**内容：**

確率モデル(確率分布) 2

1. 正規分布の意味を説明でき、正規分布に従う現象の具体例を示すことができる。
2. 正規分布の特徴を述べることができる。
3. 正規分布の標準化(標準正規分布への変換=Z変換)ができる。
4. 正規分布表を用いて、正規分布に従う現象の起こる確率を求めることができる。
5. 偏差値を計算し、平均や標準偏差の異なる集団のデータを比較できる。
6. 偏差値から、集団の中の位置を示すことができる。

**キーワード：**

正規分布、標準正規分布、Z変換、正規分布表、偏差値

**教科書：**

◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

**参考書：**

- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

**準備：**

教科書の p.139 から p.146 を読み、可能な範囲で内容をノートにまとめる。p.146 から p.147 の問題を解いてみる。30 分程度。

**基科 1 28M：(数学) ベクトル 1**

日時：6月10日(木) 4時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

**内容：**

ベクトルの内積，外積

1. 基底ベクトルを理解できる。
2. ベクトルの和を計算できる。
3. ベクトルの内積を計算できる。
4. ベクトルの外積を計算できる。

**キーワード：**

ベクトルとスカラー，基底ベクトル，内積，外積

**備考：**

教科書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

**準備：**

高等学校で学んだベクトルの範囲をよく復習しておくこと。前回の授業で配布した演習問題をやってもらうこと。1時間程度かけることが望ましい。

**基科 1 29M：(数学) ベクトル 2**

日時：6月10日(木) 5時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

**内容：**

ベクトルの応用

1. ベクトルを用いて物理量を表記できる。
2. ベクトル場とスカラー場を理解できる。
3. ベクトルの外積によりトルクやローレンツ力を計算できる。

**キーワード：**

速度，加速度，運動方程式，円運動，ベクトル場，スカラー場，トルク，ローレンツ力

**備考：**

教科書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

**準備：**

同上

**基科 1 30C：(化学) 酸塩基平衡 7**

日時：6月10日(木) 6時限

担当者：中平 健祐(教養教育)

**内容：**

人体における pH 調節の仕組みを理解する。

1. 人体における酸の産生・排出の概略を説明できる。
2. 血液の pH 緩衝作用を説明できる。
3. 疾患によっておこる pH の異常を説明できる。

**キーワード：**

揮発性酸，不揮発性酸，重炭酸緩衝系，肺，腎，アシドーシス，アルカローシス

**参考書：**

- ◆ 標準生理学 第9版 医学書院，25章
- ◆ ギャノン生理学 原書25版，岡田泰伸 監訳，丸善，35章，39章

**備考：**

Advanced 講義

**準備：**

重炭酸緩衝系の化学式と特徴を復習しておく。(20分)

**基科1 31P：(物理学) 電磁気学 1**

日時：6月15日(火) 1時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

静電気学

1. 力，電場，電荷の関係を説明できる。
2. ガウスの法則を使ってクーロンの法則を導出できる。
3. ガウスの法則を使って球状電荷が作る電場を計算できる。
4. ガウスの法則を使って平面状電荷が作る電場を計算できる。
5. 重ね合わせの原理を用いて2枚の平面状電荷が作る電場を計算できる。

**キーワード：**

静電気，電場，ガウスの法則，重ね合わせの原理

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学(原康夫，学術図書出版社)

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門(木下順二，講談社)

**準備：**

自然科学の基礎を受講した人は，その内容を必ず復習して臨むこと。復習には最低でも30分は費やすこと。

そうでない人は，高等学校で学んだ物理の電磁気分野を復習しておくこと。30分程度かけることが望ましい。

**基科1 32P：(物理学) 電磁気学 2**

日時：6月15日(火) 2時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

電位

1. 電位とは何か説明できる。
2. 一様電場がある場合の電位を求めることができる。
3. 点電荷がある場合の電位を求めることができる。
4. 球状電荷がある場合の電位を求めることができる。
5. 2枚の平面状電荷がある場合の電位を求めることができる。

**キーワード：**

電位，一様電場，点電荷，球状電荷，2枚の平面状電荷

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学(原康夫，学術図書出版社)

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**準備：**

休み時間に 32P の授業のノートを見直しておくこと。

**基科 1 33C：(化学) 反応とエネルギー 1**

日時：6月16日（水） 4時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

生体における熱エネルギーの獲得や酵素反応による化学反応のしくみを理解するために必要なエネルギーや反応速度の基礎について習得する。

1. 反応熱について説明できる。
2. 熱力学と平衡定数の関係について説明できる。

**キーワード：**

反応熱、標準自由エネルギー、生成熱、エンタルピー、エントロピー

**教科書：**

- ◆ 生命科学系のための物理化学（R. Chang，東京化学同人）

**準備：**

教科書 第3章（pp. 40-45）及び第6章（pp. 118-127）を読み予習しておくこと。（予習時間：20分）

**基科 1 34C：(化学) 反応とエネルギー 2**

日時：6月16日（水） 5時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

34Cと同じ

1. 反応次数を説明できる。
2. 一次反応を説明できる。
3. 二次反応を説明できる。

**キーワード：**

反応速度、反応次数、速度式、速度定数、半減期、濃度変化

**教科書：**

- ◆ 生命科学系のための物理化学（R. Chang，東京化学同人）

**準備：**

教科書 第9章（pp. 187-194）を事前に読んでおくこと。（予習時間：20分）

**基科 1 35P：(物理学) 電磁気学 3**

日時：6月17日（木） 4時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

導体，コンデンサー

1. 導体とは何か説明できる。
2. 導体の性質を理解できる。
3. 簡単な場合の静電容量を計算できる。
4. コンデンサーのしくみを理解できる。

**キーワード：**

導体，静電容量，コンデンサー

**教科書：**

◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

**参考書：**

◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**準備：**

33P で配布した演習問題をやってくる。30 分程度はかけること。

**基科 1 36P：(物理学) 電磁気学 4**

日時：6月17日（木） 5 時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

電流

1. 電流とは何か説明できる。
2. 電流，電位，電圧，抵抗の間の関係を説明できる。
3. 簡単な回路で電流や電圧を計算できる。

**キーワード：**

導体，電流，電圧，抵抗，オームの法則

**教科書：**

◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

**参考書：**

◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**準備：**

休み時間に 36P の授業のノートを見直しておくこと。

**基科 1 37P：(物理学) 電磁気学 5**

日時：6月17日（木） 6 時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育)

**内容：**

電気回路

1. 抵抗の合成則を理解できる。
2. キルヒホッフの法則を理解できる。
3. 抵抗とコンデンサーが直列につながった回路で，過渡現象を理解できる。
4. 抵抗とコンデンサーが直列につながった回路で，電流と電気量の時間変化を導出できる。

**キーワード：**

抵抗の合成，キルヒホッフの法則，RC 回路

**教科書：**

◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

**参考書：**

◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**準備：**

休み時間に 37P の授業のノートを見直しておくこと。



### 基科1 38C : (化学) 反応とエネルギー 3

日時 : 6月22日(火) 1時限

担当者 : 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

内容 :

34Cと同じ

1. 反応速度に対する温度の影響を説明できる。
2. 反応速度に対する触媒の影響を説明できる。
3. 活性化エネルギーについて説明できる。

キーワード :

遷移状態, 活性化エネルギー, アレニウス式, 触媒作用, ミカエリス・メンテン速度論

教科書 :

- ◆ 生命科学系のための物理化学 (R.Chang, 東京化学同人)

準備 :

生命科学系のための物理化学 (R.Chang, 東京化学同人) 第9章 (pp.198-199)及び第10章 (pp.217-222)を事前に読んでおくこと。(予習時間:20分)

### 基科1 39C : (化学) 反応とエネルギー 4

日時 : 6月22日(火) 2時限

担当者 : 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

内容 :

反応とエネルギーの実験説明

1. 化学懐炉実験の概要を説明できる。
2. 過酸化水素水の分解実験の概要を説明できる。

キーワード :

反応熱, 反応速度, 無機触媒, 酵素

教科書 :

- ◆ 生命科学系のための物理化学 (R.Chang, 東京化学同人)

備考 :

実習書に基づいて実験の説明を行う。

準備 :

事前に配布する実習書をよく読んでおくこと。(予習時間:15分)

### 基科1 40EX : 物理学実験・化学実験 5

日時 : 6月23日(水) 4~6時限

担当者 : 向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)

赤間 啓一(教養教育) 赤羽 明(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 水野 洋介

(中研・形態部門) 森口 武史(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育)

廣澤 成美(中研・機能部門) 坂本 安(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI部門)

塚本 翔(ゲノム基礎)

内容 :

A, Bグループに分かれて物理学実験と化学実験を行う。

物理学実験: 等電位線, 電気回路

1. 平面上の導体に等電位線を描くことによって電位の分布をイメージすることができる。
2. テスターを使うことができる。
3. 電気抵抗とコンデンサーと電池をつないで電気回路を作ることができる。

4. コンデンサーに電圧をかけると電荷が溜まることを理解できる。
5. 実験レポートを書くことができる。

化学実験：化学懐炉，過酸化水素の分解

1. 薬品を正確に秤量し試料の調整ができる。
2. 正しく実験器具を取り扱うことができる。
3. 反応速度の温度依存性を説明できる。
4. 触媒の働きを説明できる。
5. 無機触媒と生体触媒の違いを説明できる。

キーワード：

物理学実験：等電位線、電位、視覚化、テスター、電気回路、合成抵抗、コンデンサー

化学実験：反応物、生成物、無機触媒、酵素、発熱反応

備考：

物理学実験：授業中に適宜プリントを配布する。A または B グループをさらに半分に分け、それぞれ等電位線の実験と電気回路の実験を行う。

化学実験：配布した実習書を持参

準備：

物理学実験：あらかじめ配布される実験の進め方に関するプリントをよく読んで臨むこと。20 分程度時間をかけること。

化学実験：実習書をよく読み、作業手順を覚えてくること。(20 分)

## 基科 1 41EX：物理学実験・化学実験 6

日時：6 月 24 日（木） 4～6 時限

担当者：向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)

赤間 啓一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 水野 洋介(中研・形態部門)

森口 武史(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 廣澤 成美

(中研・機能部門) 坂本 安(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI 部門) 塚本 翔

(ゲノム基礎)

内容：

42EX と同じ

## 基科 1 42M：(数学) 関数の近似式 1

日時：6 月 29 日（火） 1 時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

内容：

マクローリン展開とテイラー展開

1. マクローリン展開を理解できる。
2. テイラー展開を理解できる。
3. 低次のマクローリン展開を求めることができる。

キーワード：

マクローリン展開，テイラー展開

備考：

教科書・参考書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

準備：

30M で配布した演習問題をやってくる。1 時間程度かけることが望ましい。

### 基科1 43M : (数学) 関数の近似式 2

日時 : 6月29日(火) 2時限

担当者 : 鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

内容 :

マクローリン展開, テイラー展開の応用

1. 指数関数、三角関数をマクローリン展開できる。
2. オイラーの式を導出できる。
3. マクローリン展開を使って  $e^{-1}$  の近似値を出すことができる。
4. 誤差を含む1つの測定量から得られる別の量の誤差を計算できる。

キーワード :

テイラー展開, マクローリン展開, 近似値, 空気中の音速, 誤差の伝搬

備考 :

教科書・参考書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

準備 :

休み時間の中に 43M の授業のノートを見直しておくこと。

### 基科1 44S : (統計学) 6

日時 : 6月29日(火) 3時限

担当者 : 椎橋 実智男(情報技術支援推進センター)

内容 :

推測統計の基本概念

1. 推測統計の基本概念を、母集団、標本、確率モデルの関係を図示することによって説明できる。
2. 推定と検定の違いを説明できる。
3. 無作為抽出、層別抽出、多段抽出などの標本抽出の方法を説明できる。
4. 無作為抽出、層別抽出、多段抽出などの標本抽出の方法を説明できる。

キーワード :

推測統計、母集団、標本、確率分布、確率モデル、推定、検定、無作為抽出、層別抽出、多段抽出、乱数

教科書 :

- ◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

参考書 :

- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

準備 :

教科書の p.148 から p.154 を読み、可能な範囲で内容をノートにまとめる。p.163 の問題を解いてみる。30分程度。

### 基科1 45S : (統計学) 7

日時 : 6月29日(火) 4時限

担当者 : 椎橋 実智男(情報技術支援推進センター)

内容 :

区間推定

1. 区間推定の概念を説明できる。
2.  $MEAN \pm 2SD$  法の意味を説明でき、それをを用いて基準範囲を計算できる。

3. 信頼区間、信頼係数の意味を説明できる。
4. 正規分布を用いた母平均の信頼区間を計算できる。
5. t 分布を用いた母平均の信頼区間を計算できる。

**キーワード：**

推測統計、母集団、標本、確率分布、確率モデル、推定、検定、無作為抽出、層別抽出、多段抽出、乱数表

**教科書：**

- ◆ 新訂版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男、サイオ出版

**参考書：**

- ◆ ヘルスサイエンスのための基礎統計学、福富和夫、南山堂
- ◆ 臨床推論 EBM と病態生理から症例を考える 基礎臨床昨日シリーズ4、後藤英司、メジカルビュー社

**準備：**

教科書の p.154 から p.160 を読み、可能な範囲で内容をノートにまとめる。p.163 の問題を解いてみる。30 分程度。

**基科 1 46EX：物理学実験・化学実験 7**

日時：6月30日（水） 4～6 時限

担当者：向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)  
赤間 啓一(教養教育) 赤羽 明(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 森口 武史  
(教養教育) 土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 廣澤 成美(中研・機能部門)  
坂本 安(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI 部門) 塚本 翔(ゲノム基礎)

**内容：**

42EX と同じ

**基科 1 47EX：物理学実験・化学実験 8**

日時：7月1日（木） 4～6 時限

担当者：向田 寿光(教養教育) 鈴木 正(教養教育) 西脇 洋一(教養教育)  
赤間 啓一(教養教育) 勝浦 一雄(教養教育) 森口 武史(教養教育) 土田 敦子  
(教養教育) 村上 元(教養教育) 廣澤 成美(中研・機能部門) 坂本 安  
(中研・機能部門) 日詰 光治(中研・RI 部門) 塚本 翔(ゲノム基礎)

**内容：**

42EX と同じ

**基科 1 48C：(化学) 反応とエネルギー 5**

日時：7月2日（金） 1 時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

34C と同じ

1. 熱量や濃度の計算ができる。
2. 反応速度を計算できる。
3. 活性化エネルギーを計算できる。

**キーワード：**

酸化反応、分解反応、反応速度、反応速度定数、熱量、活性化エネルギー

**教科書：**

- ◆ 生命科学系のための物理化学（R.Chang，東京化学同人）

**準備：**

34C, 35C, 39C, 40C, および実施した実験の内容を復習しておくこと（予習時間：1 時間）

**基科 1 49M：(数学) 偏微分 1**

日時：7月2日（金） 2 時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

**内容：**

偏微分の基礎

1. 偏微分の計算ができる。
2. 多変数関数の1次近似式を求めることができる。

**キーワード：**

多変数関数, 偏微分, 1次近似式

**備考：**

教科書・参考書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

**準備：**

44M で配布した演習問題をやってくる。1 時間程度かけることが望ましい。

**基科 1 50M：(数学) 偏微分 2**

日時：7月2日（金） 3 時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 向田 寿光(教養教育)

**内容：**

偏微分の応用

1. 誤差を含む2つの測定量から得られる別の量の誤差を計算できる。

**キーワード：**

誤差の伝搬

**備考：**

教科書・参考書は特に指定しない。授業で配る資料を教科書の代わりとする。

**準備：**

休み時間の中に 50M の授業のノートを見直しておくこと。

**基科 1 51P：(物理学) 電磁気学 6**

日時：7月6日（火） 1 時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 平沢 統(生理学)

**内容：**

細胞の膜電位

1. 細胞膜とコンデンサーの類似性を理解できる。
2. 細胞膜の静電容量を計算できる。

**キーワード：**

膜電位, 膜電流, RC 回路

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**備考：**

物理学フォローアップ講義

**準備：**

41EX, 42EX, 47EX, 48EX でやったことをよく復習しておくこと。

**基科 1 52P : (物理学) 電磁気学 7**

日時：7月6日（火） 2時限

担当者：鈴木 正(教養教育) 平沢 統(生理学)

**内容：**

ジュール熱

1. 抵抗を流れる電流が熱を放出するメカニズムが理解できる。
2. ジュール熱を計算できる。

**キーワード：**

ジュール熱，電池がする仕事

**教科書：**

- ◆ 基礎物理学（原康夫，学術図書出版社）

**参考書：**

- ◆ 医療系のための物理学入門（木下順二，講談社）

**準備：**

38P で配布した演習問題をやってくること。30分程度はかけること。

**基科 1 53C : (化学) 反応とエネルギー 6**

日時：7月8日（木） 1時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

「化学懐炉」のレポート講評

1. 得られた結果を正しく解析し、図または表にまとめることができる。
2. 得られた結果を文章で説明することができる。

**教科書：**

- ◆ 生命科学系のための物理化学（R.Chang，東京化学同人）

**参考書：**

- ◆ 実習書

**備考：**

自身で仕上げたレポートを使用するので、直ぐに確認ができるよう手元に用意しておくこと。

**準備：**

該当レポートを期日までに仕上げ提出しておくこと。（予習時間：1~3時間）

**基科 1 54C : (化学) 反応とエネルギー 7**

日時：7月8日（木） 2時限

担当者：土田 敦子(教養教育) 村上 元(教養教育) 森口 武史(教養教育)

**内容：**

「過酸化水素 H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> の分解」のレポート講評

1. 54C と同じ

**教科書：**

- ◆ 54C と同じ

**参考書：**

- ◆ 54C と同じ

**備考：**

54C と同じ

**準備：**

54C と同じ

**基科 1 55C：(化学) 反応とエネルギー 8**

日時：7月8日(木) 3時限

担当者：小谷 典弘(生化学)

**内容：**

生体触媒である酵素の構造と機能を理解する

1. 酵素の構造と一般的な特性について説明できる。
2. 酵素反応について説明できる。

**キーワード：**

触媒活性, 活性部位, タンパク質変性, 補酵素, 阻害剤

**参考書：**

- ◆ Essential 細胞生物学 (第4版) 南江堂

**準備：**

Essential 細胞生物学の「酵素」に関連する部分 (第4章 p144-149) に目を通すこと。目安時間：10分間